わがまちパートナー第1回集計結果

| 問I||新型コロナウイルス感染症の影響で不安に思われたことは何ですか。(複数回答可)

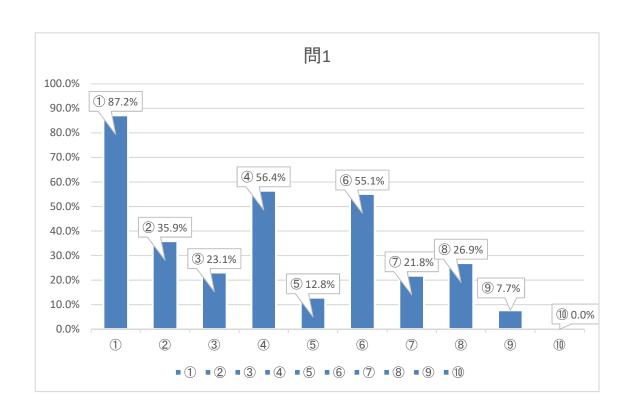
⑩特に不安は感じなかった

		挙げた	全回答者中に
		人数	占める割合
① ご自身や家族の健康に関すること		68	87.2%
② 仕事に関すること	2	28	35.9%
③ 子どもの教育に関すること	3	18	23.1%
④ 医療に関すること	4	44	56.4%
⑤ こどもの預かり(保育園・幼稚園・学童クラブ等)に関すること	5	10	12.8%
⑥ 人との交流	6	43	55.1%
⑦ 生計の維持	7	17	21.8%
⑧ 国や大阪府、市からの情報提供の不足	8	21	26.9%
9 その他	(9)	6	7.7%

0.0% n=78

10

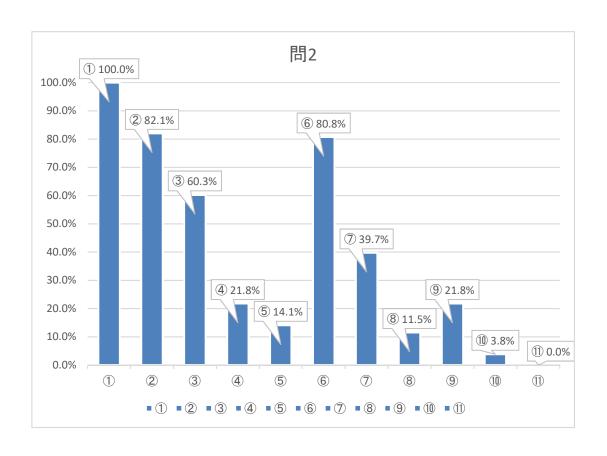
0



問2 コロナ禍において、現在、個人で取り組んでおられることは何ですか。(複数回答可)

挙げた	全回答者中に
人米行	トムス割人

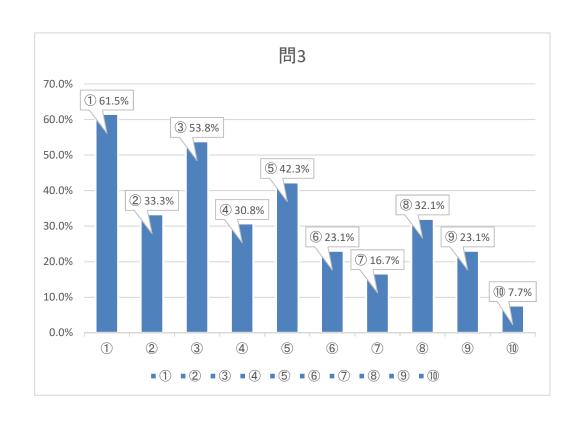
		入致	占める割合
① マスクの着用や手洗い、消毒の徹底	1	78	100.0%
② 3密(密閉・密接・密集)の回避	2	64	82.1%
③ 外出の自粛	3	47	60.3%
④ 自宅での体操や散歩、フレイル※予防など健康増進のための取り組み	4	17	21.8%
⑤ テイクアウトやデリバリーの活用	⑤	1.1	14.1%
⑥ 会食や飲み会の自粛	6	63	80.8%
⑦ 公共交通機関利用の自粛	7	31	39.7%
⑧ テレワークや交代勤務、時差出勤	8	9	11.5%
⑨ ウェブ会議やリモート飲み会、ネットショッピングなど オンラインの活用	9	17	21.8%
⑩ その他	(1)	3	3.8%
⑪ 特に取り組んでいることはない	(1)	0	0.0%



問3 新型コロナウイルス感染症対策について、市に求める取り組みは何ですか。(複数回答可)

挙げた	全回答者中に
人数	占める割合

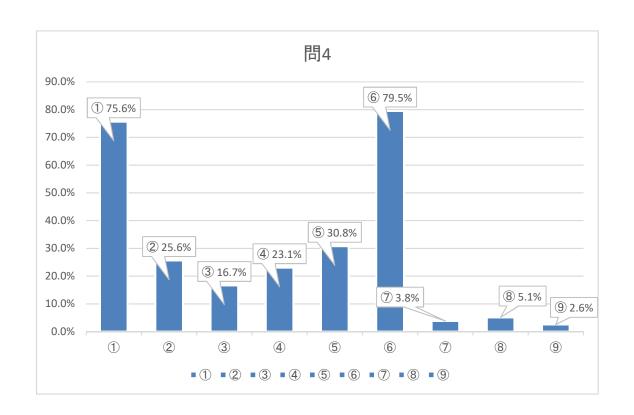
		人数	占める割合
① 積極的な情報発信	\bigcirc	48	61.5%
② 感染防止対策のさらなる強化	2	26	33.3%
③ ワクチン接種の早期実施	3	42	53.8%
④ 相談または問い合わせ窓口のさらなる充実	4	24	30.8%
⑤ 個人の生活を支える経済的な支援	(J)	33	42.3%
⑥ 事業者への支援	6	18	23.1%
⑦ 就労への支援	7	13	16.7%
⑧ エッセンシャルワーカー(市民の生活維持に欠かせない職業へ就いている方)への支援	8	25	32.1%
③ 保育園、幼稚園、小中学校の設備改修	9	18	23.1%
⑩ その他	9	6	7.7%



問4 新型コロナウイルス感染症対策に関する情報は、主にどこから入手していますか。(複数回答可)

挙げた 全回答者中に 人数 占める割合

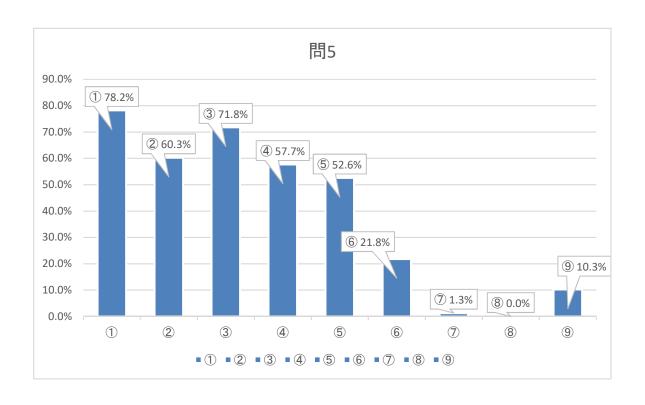
		入致	古のる割合
① インターネットニュース		59	75.6%
② 国や自治体のウェブサイト	2	20	25.6%
③ 市広報誌	3	13	16.7%
④ フェイスブック・ツイッター・ラインなどのSNS	4	18	23.1%
⑤ 新聞・折り込みチラシ	(5)	24	30.8%
⑥ テレビ・ラジオ	6	62	79.5%
⑦ 町内の回覧板や地域の掲示板	7	3	3.8%
⑧ 病院や、かかりつけ医などの医療機関	8	4	5.1%
⑨ その他	9	2	2.6%



| 問5|| 市の公共施設をご利用いただく際に、コロナ感染症対策として気にされることは何ですか。(複数回答可)

挙げた	全回答者中
	に占める割
人数	合

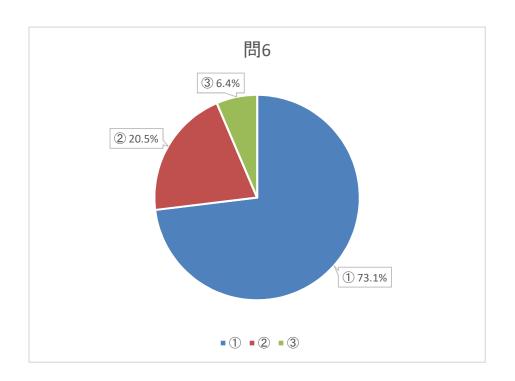
			-
① 3密の回避(密集・密接・密閉)		61	78.2%
② 飛沫対策	2	47	60.3%
③ 消毒	3	56	71.8%
④ 換気	4	45	57.7%
⑤ 人との接触	(5)	41	52.6%
⑥ 利用時間	6	17	21.8%
⑦ 特になし	7	_	1.3%
⑧ その他	8	0	0.0%
⑨公共施設を利用していない	9	8	10.3%



問6 新型コロナ感染症が終息した後、私たちを取り巻く社会環境や市民の生活は大きく変わると思われますか。

全回答者中 学げた に占める割 人数 合

① 大きく変わると思う	1	57	73.1%
② あまり変わらないと思う	2	16	20.5%
③ わからない	3	5	6.4%



| 問7 | 問6で「①大きく変わると思う」とお答えいただいた方にお伺いします。どのような事が大きく変わるだろうとお考えですか。(複数回答可)

学げた 人数 会 全回答者中 に占める割

			_
① 人と人とが直接、接する機会が少なくなる	1	23	29.5%
② IT技術やAI(人工知能)の進化により、雇用が縮小する	2	18	23.1%
③ 在宅勤務、時差出勤、フレックスタイムなど、働き方の改革が進む	3	29	37.2%
④ 非接触型社会を支える技術やサービスにより産業構造に変化が現れる	4	34	43.6%
⑤ 人々の健康への関心が高まる	5	21	26.9%
⑥ 医療制度の改革が進む	6	12	15.4%
⑦ 都会から地方への移住が進む	7	6	7.7%
⑧ 旅行やレジャーなどの形態が大きく変わる	8	9	11.5%
⑨ その他	9	0	0.0%

